

第5回 豊川水系流域委員会の開催

豊川水系河川整備計画策定後、社会情勢の変化や地域の意向、河川整備の進捗状況や進捗の見通し等を適切に反映できるよう整備計画の点検を目的として、河川に関する学識経験を有する委員に参集いただき「豊川水系流域委員会」を適宜開催しています。

今回「第5回 豊川水系流域委員会」を開催し、豊川水系河川整備計画の進捗状況の報告に対する意見を頂きました。

【開催概要】

日時
：令和3年11月30日（火）
10：00 - 11：30

会場
：WEB開催

【主な議事】

- ・豊川水系河川整備計画の進捗状況



【主な意見】

- ・各関係機関が流域治水メニューを実行するためには、予算が必要である。事業が実現可能となるように事業費の支援があると良い。
- ・前回の流域委員会における指摘を踏まえて、樹木伐採に関しては景観面に配慮して実施するべきである。
- ・事前放流で用いる降雨予測の精度が高い場合は、低下させた貯水位の回復が見込めるため、利水容量の活用にも踏み込める。降雨予測の精度が、事前放流の運用や利水容量の確保の必要性に関係する。
- ・霞堤は本来洪水を防ぐものであったと推察され、合理的な遊水機能であると考えている。一方で、霞堤地区の人口の増加は問題である。霞堤地区の住民の要望とはいえ、安易に霞堤を締切ることが最善策と決めつけられない方が賢明ではないか。先人の知恵を理解し、活用を考えてほしい。